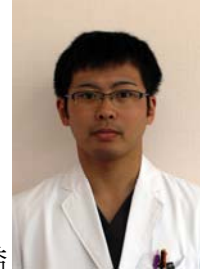


和歌山病院での実習を終えて



加藤 喬

私は7月の頭から3週間、学生時代の最後の臨床実習として和歌山病院で勉強させていただきました。私が実習先として和歌山病院を選んだ理由は二つありまして、一つは胸部レントゲンを始めとした呼吸器系の検査について勉強し自力で読めるようになりたいと思ったため、もう一つは呼吸器疾患について大学病院の呼吸器内科では肺癌を中心に勉強していたので癌以外の呼吸器疾患についても勉強したいと思ったからです。

3週間の間で胸部レントゲンの読影はとても深く勉強できたと思います。南方院長が読影テクニックに関して実際の入院中の患者の写真を用いて実践的でわかりやすく教えてくださいましたので、今後の国家試験や現場で働きだしてから自信をもってレントゲンの読影ができると思っています。その他大学病院ではあまり見ることのなかった検査部で細菌検査を見せていただき、グラム染色も実際にやらせていただきました。さらにスパイロメーターでの呼吸機能検査を実際に自分が患者役としてやらせていただき、検査の原理・方法・結果の見方に付いて理解を深めることができましたと思います。

和歌山病院は県内唯一の結核入院施設であり、カンファレンスでは多くの結核患者について勉強することができました。その他にももちろん肺癌やCOPDといった病気の患者も多く受け入れており、さらには外来で睡眠時無呼吸症候群の患者のフォローも行っており、それらの疾患について深く勉強することができました。呼吸器疾患に関しては大学病院よりもバリエーション豊富な症例を経験できると思います。

最後になりましたが、南方院長、駿田副院長、和歌山病院の全ての先生方、看護師、技術スタッフ、事務員の方々に御礼申し上げます。3週間ありがとうございました。